

支援プログラム(参考様式)

(別添資料1)

事業所名

放課後等デイサービス ステップ光町・ジャンプ教室

作成日

令和7

年

2

月

5

日

法人(事業所)理念		子どもたちの「今」とかかわり、「未来」を応援します。											
支援方針		「子どもたちが『幸福になる力』を引き出す」お手伝いをします。 「子どもたちが『未来を創造する力』を引き出す」お手伝いをします。 「子どもたちが『自分自身を強くし、他者に貢献する力』を身に付ける」お手伝いをします。											
営業時間		月～金曜日	10	時	30	分から	19	時	30	分まで	送迎実施の有無	あり	なし
		土曜日	9	時	00	分から	18	時	00	分まで			
支 援 内 容													
本人支援	健康・生活	・毎日来所時に、自分で検温して体温を所定の用紙に記入する。自分の日々の体調管理を意識付けさせる。 ・一人で帰宅する子供について、帰宅時に帰宅連絡をすることを約束し実行させる。約束を守ることを意識付けをする。 ・身だしなみや忘れ物など、日々・個々の子どもの課題について、指導、サポートする。											
	運動・感覚	・木曜日・土曜日の体操、金曜日のリミックで、体力作り、ボディイメージの確立、固有覚・前庭覚・触覚の発達を促す。 ・月曜日～水曜日の学習支援では、視機能を高める課題を個々の程度に応じて出す。また、課題後は自由遊びで、鬼ごっこ、ドッジボール、キャッチボール等を行う。											
	認知・行動	・木曜日・土曜日の体操、金曜日のリミックでは、視覚、聴覚、触覚等の五感から情報が適切に取得され、照合し、的確な判断や行動につなげる力を養う。 ・月曜日～水曜日の学習支援では、個々の習熟の程度に応じた課題を行い、語彙の習得、単語とその意味、形や色の変化を認識、大小・数の概念、始まり終わりを明確にして、過去と未来、時間等の概念の形成を図る。											
	言語コミュニケーション	・日常の挨拶の重要性を意識付けさせるため、来所時・退所時や物を受け取る時など、挨拶の励行を促す。 ・月曜日～水曜日の学習支援では、個々の特性に応じた読み書き能力の向上のための支援を行う。 ・各曜日の遊びの時間では、「なにをやるか」を決める話し合いを実践しすることで、相手の意図を理解したり、自分の考えを伝えたりする力を養う。											
	人間関係社会性	・学習支援、体操、リミック、日々の遊びの中で、子どもが、自分ができることや苦しいことを理解し、気持ちを切り替えて状況に応じた行動ができるように支援する。 ・話し合いで決めたことに従う、遊びやゲームのルールを守る(自分勝手にルールを変えない)、挨拶をされたら挨拶を返すなどの社会性を養っていく。 ・学習のあとの机・椅子の片付け、体操の準備・片付けを通して、周囲に気を配り、状況に応じてどう動けばよいのかを判断する力を養う。											
家族支援		・保護者が送り迎えに来た時に、子どもの情報交換をする。 ・保護者から相談があれば、面談の機会を設ける。 ・保護者を対象に研修会を実施する。						移行支援		・進学進級時に、支援の内容等について保護者と情報交換する。 ・必要があれば、進路についてアドバイスする。			
地域支援・地域連携		・知能検査をした子供について保護者が望めば、検査の結果を学校に伝える。 ・子どもに気になることがあれば保護者に旨を伝え、了解いただければ、学校と情報交換する。また、必要に応じて保護者にフィードバックする。						職員の質の向上		・広島大学と連携して、学術指導を受ける。 ・従業者が受けた研修について、他の従業者へフィードバックする機会を設ける。			
主な行事等		広島市体操協会に加盟しているので、可能な限り協会が主催する競技会に参加する。											